

私立 福岡医療短期大学

取組名称 超高齢社会の就業力向上につなげる医療・福祉系学生の就職支援

取組担当者 保健福祉学科 学科長・教授 大倉 義文

1. 本学の概要

福岡医療短期大学は、学校法人福岡歯科学園のグループ校の一つで、1981(昭和56)年に開校した福岡歯科大学附属歯科衛生専門学校を前身とし、1997(平成9)年4月、歯科衛生学科単科の短期大学(修業年限2年)として開学した。1999(平成11)年には、専攻科歯科衛生学専攻(修業年限1年)を設置し、さらに2000(平成12)年4月には、介護福祉士を養成する保健福祉学科を併設した。

現在は、福岡歯科大学のキャンパス内に歯科衛生学科、保健福祉学科、専攻科(歯科衛生学専攻)がある短期大学であり、計302名の学生が学んでいる。本学は福岡歯科大学、福岡歯科大学医科歯科総合病院、介護老人保健施設並びに同グループの介護老人福祉施設と同じキャンパス内に在り、医療・保健・福祉教育に絶好の環境にある。

本学では、医療・福祉の高度化・多様化を背景として、「教育基本法及び学校教育法に基づき、歯科衛生士、介護福祉士に必要な専門の知識と技術を教授研究し、教養と良識を備えた有能な人材を育成するとともに、もって医療、保健、福祉に寄与する」を教育理念としており、医療人あるいは福祉人としての自覚と倫理観を持ち、地域歯科保健や介護福祉推進の指導者的役割を果たす歯科衛生士並びに介護福祉士の養成を教育目標に掲げている。

2. 本取組の概要

本学は、医療・福祉に関する専門的職業人の育成を教育目標としており、専門就職の立場から、初年次導入教育やキャリアアップ支援の取組を実施している。しかしながら、超高齢社会を迎え、専門就職の中での職域の広がりや職種の増加に伴い、医療・福祉系学生においても就職内定状況の低迷と早期離職問題は切実な問題である。これらの課題に対応するため、①各職域の専門的知識と勤務経験を有する就職相談員2名を

配置し、学生個々の適正や能力に対応した就職支援を実施するとともに、②地域の企業(職場)、職能団体や卒業生アドバイザー等と連携したガイダンス・説明会の実施を通じて、個々の学生が自らの就業力を向上できるキャリア形成を促進する。さらに、医療・福祉系の学生に対する就職支援の一層の向上を通じて、A) 内定率の向上、B) 学生・企業(職場)間のミスマッチ就職の回避、C) 早期離職率の低減の達成を図ることを目的とする。医療・福祉職域での就業力向上につながる就職支援は、高齢者の生活の質を支えるための資質の高い人材確保としての意義も大きく、本事業を通じて、地域の医療・福祉を支える人材の就職支援態勢の強化を目指す。

3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

(1) 取組の趣旨・目的

就職内定状況の低迷と早期離職問題は、専門就職の中での職域の広がりや職種の増加に伴い、医療・福祉系学生においても切実な問題である。さらに、超高齢社会を迎えた医療・福祉の職域において、就業力向上につながる就職支援は、高齢者の生活の質を支える資質の高い人材確保としての意義も大きい。本事業を通じて、医療・福祉を支える人材の就職支援態勢の強化を図るものである。

(2) 達成目標

本取組では、①医療・福祉系の学生個々の適正や能力に対応したきめ細やかな就職支援を充実させるとともに、②地域の企業(職場)や職能団体等のニーズを反映した、卒業後の学生自らの就業力を向上できるキャリア形成を促進させることを目標として、A) 内定率の向上、B) 学生・企業(職場)間のミスマッチ就職の回避、C) 早期離職率の低減の達成を図ることを目標とする。

4. 本取組の具体的内容・実施体制

(1) 取組の具体的内容

各職域の専門的知識と勤務経験を有する就職相談員2名を配置し、学生個々の適正や能力に対応した就職支援を実施するとともに、企業（職場）や職能団体（歯科医師会と介護福祉士会）等と連携したガイダンス・説明会の実施を通じて、個々の学生が企業（職場）等のニーズを把握し、自らの就業力を向上できるキャリア形成を促進し、就職支援の一層の向上を図る。

(i) 就職相談員の配置による就職支援

就職相談員2名の配置により、本補助事業の取組の学内外への積極的な周知活動とともに、学生個々の適正や能力に対応した就職支援を充実させ、学内における学生への就職情報の提供機会の拡大と個別対応アドバイスの質の向上を図る。さらに、就職相談員と両学科の就職担当教員等が活用する就職支援関連情報のデータベースを構築することにより、学生個々の相談記録や内定・就職状況の情報や企業（職場）の求人関連情報等を就職支援システムとして有効に活用することができ、学生の就職支援態勢の改善に生かしている。

初年度（2009(平成21)年度）には、交付内定日2月15日からの事業開始であったものの、学生個々に対応したアドバイスの質の向上を図るため、両学科の2009(平成21)年度卒業生を対象としたアンケート調査を実施し、学生が就職活動の際に望む就職支援情報やサービス等の情報を収集することで、学生ニーズの把握ができた。また、企業（職場）の求人関連情報についてFileMakerを用い、活用しやすい就職支援関連情報のデータベースとして構築を進めていった。さらに、上記の学生アンケートから得られた学生が望んでいる就職支援情報についても、データベース化できるよう準備を進めることができた。

2010(平成22)年度上半期には、学内での就職支援活動の周知を目的とした掲示ポスター（図1）等を作成し、また、後述するガイダンスやセミナー実施の際にも、適宜、就職相談員により就職支援・相談についての周知を実施した。

また、本学の学生に対応させた『求人票の見方（ポイント）』、『面接・面談の受け方マニュアル』、『履歴書等の作成マニュアル』等の参考資料を改訂作成するとともに、就職相談や面接・面談の実地練習等の個別支援も継続している。



図1 就職支援活動周知の学内ポスター

(ii) 企業（職場）や職能団体と連携した就職支援ガイダンス

各学科の就職先である企業（職場）や職能団体（歯科医師会と介護福祉士会）の担当者と連携したガイダンスの実施により、個々の学生が企業（職場）等のニーズを把握でき、学生自らの就職のためのモチベーションや就業力を向上できるキャリア形成を促進させ、今後の就職支援の向上を図る。

初年度（2009(平成21)年度）は、2010(平成22)年度取組の準備期間とし、平成22年度上半期には、両学科それぞれのガイダンスを下記の要領で実施した（写真1、2）。

【歯科衛生学科】

5月19日（水）午後3・4限目：3学年80名と1学年93名、計173名を対象とし、福岡県歯科医師会、福岡県歯科衛生士会、企業（職場）の外部有識者を招いての就職支援ガイダンス（講師による講演の後に、総合・個別質疑応答）を実施した。

【保健福祉学科】

4月27日（火）午後3・4限目：2学年16名と1学年32名、計48名を対象とし、福岡県介護福祉士会、企業（職場）の外部有識者を招いての就職支援ガイダンス（講師による講演の後に、総合・個別質疑応答）を実施した。



写真1 就職支援ガイダンスの風景（1）

また、下記の (iii) 本学卒業生アドバイザーによる就職支援ガイダンスの際に、学生が聞きたいと思っている内容についても当該学生へのアンケート調査により把握し、学生のニーズを反映させるための工夫とした。



写真2 就職支援ガイダンスの風景 (2)

(iii) 本学卒業生アドバイザーによる就職支援ガイダンス

当該学生の“先輩”に当たる、医療・福祉系企業（職場）で勤務する本学卒業生アドバイザーと連携したガイダンス・説明会の実施を通じて、個々の学生が企業（職場）における“生の声”を把握できる。また、予めアンケート調査により把握した当該学生が知りたがっている疑問点や内容に基づいた講演と質疑応答により、就職活動の進め方や在学中にはわかりづらい職場の魅力や現実についての情報収集が可能になり、学生自らの就業力を向上できるキャリア形成を促進することができ、今後の就職支援の効果が高まる。

初年度（2009(平成21)年度）は、2010(平成22)年度の取組の準備期間とし、2010(平成22)年度上半期には、両学科それぞれのガイダンスを下記の要領で実施した。

【歯科衛生学科】

9月3日（金）午後3・4限目：3学年80名と1・2学年93名、計173名を対象とし、本学卒業生アドバイザーによる講演の後に、総合・個別質疑応答の手順で実施した。

【保健福祉学科】

9月30日（木）午後3・4限目：2学年16名と1学年32名、計48名を対象とし、本学卒業生アドバイザーによる講演の後に、総合・個別質疑応答の手順での実施予定。

(iv) 就活力・社会人力セミナーの実施

福岡県若者しごとサポートセンター（福岡市中央区）においてセミナー講師をつとめる専門講師を学内に招き、就活力のみならず社会人力向上のためのセミナーを実施することにより、実践的な就職支援の一助

とする。

初年度（2009(平成21)年度）は、2010(平成22)年度の取組の準備期間とし、2010(平成22)年度上半期には、両学科それぞれのガイダンスを下記の要領で実施した。

【保健福祉学科】

5月11日（火）午後3・4限目、5月18日（火）午後3・4限目、6月15日（火）午後3・4限目：2学年16名と1学年32名、計48名を対象とし、系統的かつ実践的な就活力・社会人力セミナーを実施した。

なお、歯科衛生学科については、臨地実習のスケジュールを考慮し、2010(平成22)年度下半期（11月25日（木）午後3・4限目）の実施予定である。

(2) 取組の実施体制

学長、両学科長、就職担当教員とともに、専門的知識と勤務経験を有する就職相談員2名を含めた学内『推進委員会』を設置し、具体的な実施計画を策定する。さらに、地域の企業（職場）や職能団体（歯科医師会と介護福祉士会）の長やキャリア支援担当者等の外部有識者や本学卒業生アドバイザーを外部講師として学内に招聘し、系統的な取組が可能な体制となっている。

初年度（2009(平成21)年度）には、学内教職員から構成される本取組のための『推進委員会』の設置と会議を開催し、3月上旬から適宜、2010(平成22)年度の事業スケジュールを検討するとともに、学内FD講演会において本取組の概要を説明し、本学全体の就職支援取組の意識の改善を図ることができた。

また、2010(平成22)年度上半期には、9月2日（木）に開催した『第2回評価委員会』に向けての資料作成と学内評価を実施した。

(3) 取組の連携先（企業名等）

複数の外部関連団体と連携し、上記のガイダンス・セミナーにおける外部講師、学外評価委員のメンバーとして本取組に参画いただくことで、本取組の質を担保している。

- ・福岡県歯科医師会（福岡市中央区）
- ・福岡県介護福祉士会（福岡県春日市）
- ・福岡県若者しごとサポートセンター（福岡市中央区）
- ・介護老人保険施設『サンシャイン シティ』（福岡県早良区）
- ・学会 介護老人福祉施設『サンシャイン プラザ』（福岡市早良区）

5. 本取組の評価体制・評価方法

(1) 取組の評価体制

本取組では、①学生対象のアンケート調査、②外部講師を含む担当者へのアンケート調査、③学内『推進委員会』による内部評価、④企業（職場）や職能団体等の長、先進的取組を実践している他大学担当者等の外部有識者を加えた『評価委員会』による外部評価、⑤対象学生の内定率等の調査を活用し、取組の評価体制を構築する。特に、外部有識者を含む『評価委員会』会議を開催することにより、企業（職場）や職能団体等の長や先進的取組を実践している外部有識者からのアドバイス等を本補助事業取組の改善に反映させ、本補助事業の実施内容を充実させることができる。

初年度（2009（平成21）年度）には、外部有識者を含む『第1回評価委員会』会議を3月24日（水）に開催し、学内『推進委員会』で策定した事業スケジュール原案について意見とアドバイスをもらい、取組の質の向上が図られた。特に、先進的取組を実践している福岡大学と福岡工業大学の就職支援担当者から、専門就職の多い短期大学においても活用できる取組についての有用なアドバイスが得られた。

2010（平成22）年度上半期には、『第2回評価委員会』会議を9月2日（木）に開催し、①上半期事業実績報告、②下半期事業計画、③質疑（ご意見・アドバイス等）により、今後の取組についての有用なアドバイスが得られた。特に、アンケートの設問方法の工夫やガイダンス・セミナーの際に有用なグループディスカッション形式についての意見は有用であった。さらに、④2011（平成23）年2月実施予定の『第3回評価委員会』会議の際に、評価委員に対する本取組に関するアンケートを実施し、A) 取組全般についての評価、B) 成果についての評価、C) 今後の課題としての示唆、D) その他、意見や質問について取り纏める方針を示し、各評価委員から内諾が得られた。

(2) 達成目標に対する達成度についての指標

就職相談員による就職支援の状況、ガイダンス・説明会等の履修状況や履修態度、学生・外部講師を対象としたアンケート調査による学生の意欲・満足度やニーズ、有用性と改善点等を把握することにより、就職支援とキャリア形成の取組評価の指標とする。また、就職内定率や学生・企業（職場）間ミスマッチによる内定取消等のデータを、就職支援態勢の強化の成果を測る指標とする。

2010（平成22）年度上半期に実施した、ガイダンス・セミナーにおける学生アンケート結果の概要は、「就職支援としての取組の有用性」や「新たな知識・情報の獲得」等の設問において、肯定的な回答の比率は約80～90%とおおむね高評価を得ていた。今後、総合的なアンケート集計を通じて、さらなる有用性と改善点等を把握するとともに、就職内定率や学生・企業（職場）間ミスマッチによる内定取消等のデータとの関連性を検討する予定である。

6. 本取組の実施計画等

(1) 実施計画

①就職相談員2名による就職相談支援強化の整備（随時）②企業（職場）や職能団体担当者、卒業生アドバイザーによるガイダンス・説明会の開催（2010（平成22）年度に4回）、③福岡県若者しごとサポートセンター講師による『就活力・社会人力育成セミナー（仮称）』の開催（2010（平成22）年度に計6回）、④『評価委員会』による外部評価と検証（計3回）

(2) 取組の展開

『最終報告書』として取り纏める取組成果を、本学専用Webサイト等を通じて広く社会に情報提供するとともに、将来の取組改善の糧とする。また、2010（平成22）年度卒業生と当該学生の職場担当者を対象としたアンケート調査、中長期的な職場定着率等に関する追跡調査による取組検証を実施する予定であり、将来の就職支援態勢強化としての効果が見込まれる。

なお、2010（平成22）年度上半期の本取組実績の一部について、下記の関連教育学会で成果発表することにより、社会への情報提供の一つとした。

(i) 第5回 日本歯科衛生学会：

「歯科衛生士学生の就職活動における意識調査」
○黒木 まどか、堀部 晴美、松延 瑠理子、貴島 聡子、
升井 一朗、栢 豪洋。

2010（平成22）年9月18日～20日（千葉県：OVTA）

(ii) 第17回 日本介護福祉教育学会：

「超高齢社会の就業力向上につなげる福祉系学生の就職支援の取組」
○斉田 直樹、秋竹 純、末松 美保子、高瀬 文広、
有馬 洋、大石 明子、大倉 義文。

2010（平成22）年8月23日～24日（東京都：目白大学）